



平成 31 年 1 月 4 日

報道機関 各位

国立市役所市長室広報・広聴係

「地域環境のため、一人ひとりができること」

～え!? 私の暮らし、地球 2.8 個分?～

「くにたち環境ネットワーク  
連続学習会」を開催します

費用  
無料

私たちの暮らしが環境にどのくらい影響を与えているのかを学ぶため、市では次のとおり連続学習会を開催します。

ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

記

### 第 1 回

#### 内 容

「私の暮らしは地球何個分? <エコロジカル・フットプリント>を学ぶ」

毎日の暮らしが地球環境に与える負荷を地球の個数で示したものを、「エコロジカル・フットプリント」と呼びます。最新の計算によると、全世界の暮らしは世界平均で地球が1.7個必要であり、今まで蓄えた資源でまかなっている状態です。仮に世界の人々の暮らしが日本と同じなら、地球は2.8個、米国と同じなら5個が必要とされます。

日 程 2月3日(日)

#### プログラム・講師

- 「エコロジカル・フットプリント」の意義と、環境指標として導入している外国などの自治体の事例を含めた紹介：清野 比咲子氏（世界自然保護基金ジャパン）
- ワークショップ形式で診断クイズに挑戦、あなたの暮らしが地球何個分になるか、算出方法を学習：泉 浩二氏（NPO 法人エコロジカル・フットプリント・ジャパン 環境カウンセラー）



## 第2回

### 内 容

「一人ひとりの自転車利用が環境のよいまちづくりにつながります！」  
だれもが利用している自転車が、環境、健康、さらには災害時の避難手段として注目されていることや、自転車利用による環境のよいまちづくりについて学習します。

日 程 2月24日（日）

### プログラム・講師

- 基本的なルールやマナーを守ることの重要性や、健康のために自転車に乗ることの必要性を、各種データや外国の事例を交えて紹介：古倉 宗治氏（NPO 法人自転車対策計画推進機構 理事長）
- 交通工学の立場から自転車を研究し、現在、国立市自転車対策審議会の会長という視点から自転車をベースにした国立市の交通のあり方などを解説：鈴木 美緒氏（東海大学 准教授）
- 対談と質疑応答講師による講演、自転車のいま、そして将来的な課題、展望などについての対談後、会場からの質問に講師が答えます。

## 第1・2回の共通事項

開催時間 午後2時～4時

場 所 市役所3階 第1・2会議室

定 員 30名（申込先着順。両回を受講できる方優先）

持 ち 物 電卓（第1回のみ）

申 込 1月28日（月）までに、件名を「『環境ネットワーク連続学習会』申込」とし、①参加を希望される方全員の氏名②電話番号③住所を明記のうえ、電話、ファクスまたはメールで以下の問い合わせへお申し込みください。

主 催 くにたち環境ネットワーク

問い合わせ

国立市生活環境部 環境政策課環境政策係  
TEL：042-576-2111（内線135、136）  
FAX：042-576-0264  
メール：sec\_kanseisaku@city.kunitachi.lg.jp